

Vサインの意味は？

岡本 悠

仕事を辞めたって？

そうなんだ、もう、人間関係がわずらわしいんだ

どうやって生きていく？

とりあえずは、仕送りしてもらおうよ、障害年金もあるから、

それを、大地は、バーのママに伝えた

若葉は、静かに聞いて、答えた

「給料、送ってくれるなんて、いい会社だね」

その通りだ

でも、なんで、辞めるの？

また、同じ質問、

全部、自分の身を説明した

統合失調症

これを、伝えたかった

他にも、中退したとか、大検をとって大学に行ったとか…

真面目だね

若葉は笑った

そのうち、買い物から帰ってきた、夢乃にも、

俺、統合失調症なんだ

とは、伝えた

幾分、楽にはなった気もする

仕事場には、昔、白鳥さんという女性がいた

面影が、倉木麻衣に、似ていた

白鳥さんは、俺の視線を嫌がった

かもしれない

甘いガードで、すぐ見ていると、こっちを見返した

同僚の女性はバス停で、白鳥さんは弁当屋で忙しい

と、話していた

一目惚れしてから

数回会っただけで

もう、姿を見かけなくなった

好きすぎて、バスの中で泣いたこともある

それくらい好きだった

俺が仕事を辞める日まで

もう、ずっと来ていなかった

バーでは、最初に会ったのはネネだった

明るい性格をした、下町の女の子だ

温かいコーヒーを、いれてくれた

そして、ラルク・アン・シエルが好きだと言っていた

ハイドがお気に入りのようだ

2度目に行った時も、ネネはいた

俺は「ハニー」を歌った

ネネは、喜んだと思う

この日は、ネネの入れた、コーヒーを指名した

店を出る時、軽く引き寄せて抱いた

ネネは抵抗しなかった

なぜだ？

神は、大地に宿った

大地は、ぬいぐるみ、を、相棒にしていた

もう、何年もずっと一緒にいる存在だ

しかし、まだ、ぬいぐるみ、の、ほんとうの愛しかたを知らなかった

だから、神がシャシャリ出て、

大地が、ぬいぐるみの傷を塗った時

「ありがとう」と言うと、

大地は、心の底から嗚咽した

それが、愛するという意味だった

パトカーに先導されて

フロイド・メイウェザー・ジュニア

が、入ってきた

その光景を

大地はテレビで観ていた

ガクトと挨拶を交わしていた

芸能人では、

大地は、自分より年上の2人の女性が好きだった

井川遥

長谷川京子

だ

そして、なぜか

ゴルフの、宮里藍ちゃんのファンだった

藍ちゃんは、昔のスナックの、フィリピン人の女性に、似ていたからかもしれない

B型が揃った

クリスマスの日、ネネはいなかった

しかし、洋子と、みさえ、を紹介された

洋子は、かわいらしい顔をしていた

幼さの残る顔

童顔だった

洋子は、「私は、易きに流れやすい」

と言って、

タバコをふかした

みさえ、は、既に結婚する予定だと、ちらつかせていた

ZARDの坂井泉水は、

いつ見ても、美人だ

年が明けて、バーに行くと

ネネがいた、

ラルクを歌えばいいのに、

福山雅治を歌った

若葉と約束？ していたからだ

スクールだ

ネネは、「この曲知ってる」

と言った

でも、私はラルク

と言ったのは、聞き逃さなかった

ネネは、彼氏はいる

と、言っていた

年下の男のようだ

とにかく、俺に比べれば、若いらしい

神は、大地に試練を与えた

仕事場で、今日、キレルぞ！

予告はなかったが、

大地は、仕事場で

不快な態度をとり続けた

神の演技を

大地は、傍観していた

カラカラのノドの奥で

絶望を飲み込んだ

もう、今日が最後だ！

5時の鐘が鳴っていた

大地は、図書館に通い出した

仕事場からも2回ほど連絡は来ていたが

返事をしなかった

大地は、神に従った

医者先生も、このタイミングで変わった

バーにも、足が向かなくなった

若葉の誕生日会も、行けなかった

大地は、彷徨った

これから、どうやって生きていこう



ただ 免疫はあった

いつも このパターンだからだ

とにかく 一般の仕事に戻ることは もうないことだけは、ハッキリした

小説か？

音楽か？

詩人か？

迷った

でも、こういう固有の生き方しか、できないことも、ハッキリしたのだ

小説は、楽だった

書けばいいだけだから

音楽は、面倒だった

いろんな要素が、入り混じるから

詩人も、いつしか書いてるうちに、小説に変わってしまった

そうだ、俺、ほんとうのことが知りたいんだよ

人と本音で、話がしたいんだよ

でもさ 俺には、永遠の金がある保証はないけど

俺は やはり、自分で稼げないと嫌だ

って、ことに、遂に、気づいた

でも もう職場には、辞表を提出して、受理されていたし

もう そういう一般の仕事に、戻ることはないんだ

それは もう仕方ないんだ

神は だました

けれど

ほんとうにやるべきことを、しめしてくれたんだ

だから 俺は決めた

生きていくことを

そして、ほんとうに自分が、自分をまかなえた時が

ひとつのゴールになる

俺、固有の形で

父は、メールで、それを、幸せと言った

やはり 合っていたんだ

神は言った

大地、お前さんが、生きているだけで、神は幸せだ

生きるだけでいい

自殺はするな

それは、お前の好きな神が、哀しむことだから

だから、やってはいけないよ

生きていくことは、苦しいことがいっぱいあるけど

それは、乗り越えるのではなくて

捉え方次第なんだ

癌の苦しみはわからない

イジメの苦しみはわからない

かゆみの苦しみも嫌だよ

でもね、

生きる意味は

...

生きる意味は

...

生きる意味は

...

生きることなんだ

それだけでいい

「完」